

施策評価管理シート

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	2017(平成29)年6月作成	
	基本施策	4	魅力的な都市環境づくり	担当部局名	部局長名
	施策	2	都市計画	都市整備部	谷本 浩司

1. 施策の基本方針 **P**lan

○ 集約連携型の都市構造を目指し、歴史や文化、自然資源など地域特性を生かした暮らしのまちとして質の高い都市環境の形成に向け、都市マスタープランに基づき、環境、福祉、教育、文化などの分野や地域づくりの取組と連携しながら、多様な生活様式に配慮した、持続可能な魅力ある都市づくりを進めます。

○ 「名張らしさ」を大切にしながら、地域の特性に応じた個性豊かな景観の保全や創造など、美しい市土を形成するために、地域住民と協働して、景観形成を進めるための計画や制度の充実に取り組みます。

2. 現状と課題 **P**lan

○ 分散型から集約連携型の都市構造への転換にあたっては、まとまりのある市街地や集落の形成と合わせて、郊外部での無秩序な開発の抑制と集約化された拠点と有機的につなぐ軸の形成が必要であることから、それぞれの拠点機能の向上による定住人口の確保と、拠点間の機能分担を支える連携の促進に向けた取組が必要です。

○ 施策指標（目標）及び達成状況 **P**lan **D**o

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
自分が住む地域におけるまち並みなど景観や環境が良好であると感じる市民の割合（％）	目標	-	-	-	75.7	
	成果	73.7	75.9			100.0%
国勢調査における、市全域人口に対するD I D（人口集中地区）人口の割合（％）	目標	-	-	-	55.0	
	成果	54.0	55.4			100.0%

3. 課題解決への取組内容（平成28年度） **P**lan **D**o

計 画	実績及び主な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・名張市用途地域等見直し方針に基づき、地域との連携・協働を基本とし、必要なルールづくりを進めます。 ・地域の実情に応じたきめ細やかな土地利用等のルールづくりに向け、地区計画制度の積極的な活用を進めます。 ・地域の特色を生かした美しい都市づくりに向け、地域が主体となったまちづくりと連携した景観まちづくりを推進します。 ・長期未着手となっている路線等を対象とした都市計画道路の見直し方針を公表しており、この方針に基づき必要な法手続きを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名張市用途地域等見直し方針を踏まえ、地域が主体となって将来の地域像及び必要なルールを検討していただく体制づくりを促進し、地域組織との協働により用途地域及び地区計画の原案作成を進めました。 ・「公共事業における景観まちづくりへのアプローチ」として、市内事業者、職員を対象とした景観まちづくり講座を開催し、景観まちづくりの普及啓発に努めました。

4. 成果を踏まえた課題や現状 **C**heck

・集約連携型都市構造の実現に向けた、都市機能の配置等については、立地適正化計画の策定をはじめ、公共施設、医療福祉施設、教育施設など、都市機能の集約化、適正配置に向けた市内連携の体制を整える必要があります。

・用途地域等の見直し方針を作成し、地域づくり組織等との協働により、用途地域及び地区計画の原案作成を進めてきており、地区計画の原案作成においては、地域住民の合意形成が不可欠であることから、地域の実情に応じた住民意向の反映手法や合意形成手法の検討が必要となっています。

・「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議（座長：内閣総理大臣）」において示された、2020年度を目途に主要な観光地で景観計画を策定するとしての方針を受け、国土交通省から文書が発出されるなど、景観計画の策定期間については配慮が必要となっています。

5. 課題解決への取組内容（平成29年度） **A**ction

・用途地域等の指定により、計画的で秩序ある土地利用を推進し、都市機能の集約、住環境の保全など、暮らしのまちとしての魅力を高めます。

・地域の特色を生かした美しい都市づくりに向け、地域が主体となったまちづくりと連携した景観まちづくりを推進します。

6. 行政評価委員会による総合評価 **C**heck

現行通り施策の取組目標の達成に向け、各事業の推進を図ること。